



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKOROZAWA

2025年8月 通巻 429号

今月のテーマ 戦略 2032



会長	小林 勉	クラブ会長主題 「人、出会い、交流」
副会長	岡部八千代	国際会長 A・シヤナヴァスカーン（インド） 「より良い世界のために、共に」
	澁谷弘祐	アジア太平洋会長 ジョウン・ウォン（香港） 「大きなインパクトを起こそう」
書記	宮地輝子	東日本区理事 山下 真（十勝） 「ワイズらしさ再発見」
会計	金本伸二郎	関東東部部長 鈴木雅博（江東） 「CHANGE （変革）若者から発信！」

今月の聖句

めいめい、自分のことだけではなく、他人のことにも注意を払いなさい。互いにこのことを心がけなさい。
それはキリスト・イエスにも見られるものです。
フィリピの信徒への手紙 2章4節・5節

8月例会

日時：8月9日（土）18:00～20:00
場所：YMCA 小手指センター 208・209
会費：1000円（弁当代を含む）

司会	大澤和子
1 開会点鐘	金本伸二郎
2 ワイズソング	
3 ワイズの信条	
4 聖書・祈り	金本伸二郎
5 来賓紹介	
6 会食	
7 卓話	太田 聡
	『埼玉 YMCA の現状と今後の展望』
8 YMCA 報告	太田 聡
9 ワイズ報告	宮地輝子
10 誕生・結婚記念	
11 閉会点鐘	金本伸二郎

※お弁当の注文は

8月4日（月）までに宮地まで
所沢ワイズメンズクラブのLINEで
宮地 Tel 09-8302-5495

高齢者の一人として

須田聖子

朝目覚めて、ゆっくりカーテンを開けます。明るい日差しが目に入りますが、まだ五時…。今日も平穏なでも退屈な一日が始まります。老後のほどほどに恵まれた生活を無意識に確認する一方で、“これで「私は幸せ」と言えるか “という疑念が心の片隅に居座っていることに気がきます。

今私は他市にある高齢者施設に月の三分の二、所沢の自宅に月の約三分の一居住し、福祉的支援の恩恵を受け日々過ごしていますが、一つの社会とはいえ、外の世界と隔絶され世間から守られた施設の世界での平穏には満足できずにいます。

衰えた身であってもわずかに残っている力、他者への想いを役立てられないか…。

今も社会を構成する一員でありたい。という気持ちが変わらずにあります。

「高齢者の生き方とは？」とふと考えることがあります。激動の昭和を生きてきた八十代、九十代はとても強い…。自分の生き方に自信を持ち、プライドを持ち、物事を判断し行動しようとしします。時には私自身もその一人で、自身の感性、理解力、判断力等々に過剰な自信を持ち生きているのではないかと反省するのですが。

とはいえ、今の時代決して生き易い幸せな社会とは言えない社会状況下。年齢を問わず何の困難も感じずに生きている人がどれほどいるか…。そして私たち高齢者はどのように生きることが望ましいのかを施設の中にも時々考えます。

生き辛さを抱え、自分の苦しさ、悲しさ、寂しさに

1人で耐えながら、一生懸命に日常生活を送っている人が私たちの周りにいらっしゃる…。そのことに気付いたのは約20年間NPO法人に通う若者達との日常の関わりがあったからです。子供の頃から他の子ども達からは勿論、周りの大人（親であっても、いえ親だからこそなのでしょう？）にも理解されず受け容れられず、孤独な日常に耐えてきた青年たちがたくさんいました。

幸せなことに（と言ってよいのでしょうか）私は10代から30代の若者達（50代でも精神的には或いは心は若者でした）や、様々な経験や資格を持つスタッフ達との日常の中で、他では得られない「人間とは」「生きるとは」と学び考えさせていただくことができました、心から感謝しております。

今後、今まで私が関わった青年たちの日々が、成長のために克服しなければならない数々の困難よりも、心から喜びや幸せを感じるたくさんの経験が積み重ねられる人生であってほしいと願う毎日です。

そして私自身は名ばかりの会員でしたが、日ごろの皆様の活動や通信を通して私の心に刻まれたYMCAの精神がどんなに大切なものをいつも痛感しておりました。どうぞYMCAが青少年から高齢者迄の広い世代の方々に寄り添い、支え合い、学び合う存在であり続けていただきたいと心から願っております。

7月例会報告

小林 ベン

出席者は、澁谷弘祐、実季、すみれ君、岡部、大澤、宮地、上山、柿原、金本、太田、小林ベン
〈敬称略、順不同〉

7月例会は2005-2026年度のキックオフ会議（会場：所沢YMCA 2F）でした。

今期の役員は、会長：小林ベン、副会長：澁谷弘祐、岡部八千代、会計：金本伸二郎、書記兼ブリテン編集：宮地輝子です。

よろしく願いいたします。

1) 活動方針（案）について小林より提案しました。

4大テーマとして ①他クラブ活動への積極的な参加：「近隣の他クラブの活動を知り親睦・交流を図る」 ②野外の所沢クラブ主催のイベント：「視野を広めるとともに親睦を会員同士の親睦を深める」、③YMCAの行事への協力：「YMCAを支援する奉仕団体としての支援活動」、④月例会の会場設営準備の分担

「今まで一部の方（大澤さん、宮地さん）の行為に甘え依存していたが、会員同士で分担していく

（2名ずつ、年間2回）を掲げています。



2) 7月から来年6月までの活動計画（案）を岡部副会長より提案しました。

卓話が4回（8月：太田総主事、9月：八重樫綾子さん、2月：岡部さん、4月：ユース・リーダー）、イベントとしては10月：野外例会（山中湖YMCAセンター視察、または軽井沢自然林体験（小林家山荘）、11月：例年のチャリティーラン、12月クリスマス会、1月：新年会例会（ふらっとJOY）、3月：日帰り温泉（場所未定）、5月：映画上映会「中村哲医師ドキュメンタリー」、を計画しております。

3) その他・月例会の開催時間の変更

卓話の開催時間を会員の高齢化を踏まえて夜間の活動を軽減する意味で、2回は午後3時からの開催も提案しました。

活動方針、年間活動計画とも全員の賛同を得て採択されました。

4) 関東東部部長の検討依頼事項「部大会の廃止とそれに伴う部則の改定」を小林の説明をもとに話し合いました。

①所沢クラブとして了承する、②CS活動を充実させて、大会の趣旨（メンバーの研鑽と親睦）を活動の中に最大限とり組んで行く、の意見集約を行いました。

今回はゲストがおりませんでした、会議終了後10名でお弁当を頂きながら懇談を楽しみました。

YMCA 報告 太田 聡(本部事務局)

子どもたちの身体も心も大きく育つ、夏休みが始まりました！水泳・体操の短期講習会、英語のサマースクールなど地域の子どもたちが大勢参加されます。今回は、特に次の3つについて報告します。

【サマープレイス所沢】

この事業は、学童クラブに申し込んでいたものが入ることができなかった待機児童を対象とした夏の一時預かり事業です。今年初めて所沢市の委託として始まりました。29名の小学校1年生～5年生が登録し、8:00-9:00は夏休みの宿題などをするスタディタイム、そのあと、こぼと児童館やキッズクラブに移動して過ごします。長い夏休みを自宅で過ごしてばかりいると、ゲームやインターネットばかりになります、YMCAでは、昔遊びのコマをしたり、水遊びをしたり、異年齢での集団活動を大切にしています。



【Dynamic Summer オレゴンキャンプ出発】

7月26日、羽田空港から18人の子どもたちと引率者（青柳さん、Jarretさん）が出発しました。1983年より続く海外交流プログラムで、森の中にあるCamp Collinsでの1週間のキャンプと6日間のホームステイがあります。



楽しいことばかりでなく、しんどいことも沢山ありますが、この2週間様々な経験をし、無事の帰国を共に祈りください。

【ぐんま YMCA との合同キャンプ】

この夏は、ぐんま YMCA の赤城キャンプ場で行われるキャンプに埼玉からも子どもたちが参加します。山の斜面にロッジがあり、ネイチャーゲーム、キャンプファイヤー、野外炊事などを行います。7月には茨城YMCAに埼玉YMCAのウエルネススタッフが着衣泳の指導に行きましたが、近隣YMCAの協働事業が広がっています。

ワイズ報告 宮地輝子

7月12日の例会は2025-2026年度のスタートの月で例会報告のとおり、新しい役員に引き継がれ、活動方針、活動計画が話し合われ、月例会の開催時間についても話し合われました。

また関東東部部長の検討依頼事項として、「部大会の廃止とそれに伴う不足の改定」について話し合われ、意見集約がされました。

その後7月19日の関東東部評議会で、これについて、話し合われ、「原則として部大会は開催していこう。」という結論に達しました。詳細は第1回関東東部評議会報告にあります。

第1回関東東部評議会報告 宮地輝子

7月19日に2025-2026年度第1回評議会が東陽町コミュニティセンターYMCAホールで開催されました。定足数22名のところ、34名(会場27名・委任状7名)出席で、評議会成立となりました。

相川達男書記の司会で部長活動方針・事業主査挨拶・クラブ会長方針が発表されました。

鈴木雅博部長は『クラブの減少で、ワイズメンズクラブ自体がなくなってしまうために、若者を交えて魅了のあるワイズの活動をして将来ある子供たちに今後の日本を支えていくための基礎にしてあげたい』と述べました。

金丸満男事業主査は『あきらめずに、一人でも多く会員増強をしていきたい』と述べられ、各クラブの会長がそれぞれのクラブの会長方針を発表しました。

議事に移り前年度の決算報告・および、今年度の予算案が承認されました。

続いて、提出協議案の関東東部部会開催の件について協議されました。先の東日本区大会代議員会で可決された「第17条第4項(3)部内各クラブの情報交換

および親睦のため、年1回以上、部長が主宰する部大会を実施する。」を削除したことに伴い関東東部の部則も変更の必要が」あるかどうか、それによって関東東部の部大会も開催すべきか否かについて協議しました。

関東東部ではこれまで、「部長を出したクラブが部大会をやってきたが、飲食なしで、スポーツ大会のようなものやってもいい。」「一度、開催をやめてしま



ったら、もう開催することはなくなってしまう。」「部内の交流があるような形であればよい。」「部大会は、日本区大会、東に本区大会など、遠くて行かれない人がいるから、その中で他のクラブとの交流を図る。

親睦を図り、部の結束を図るのが大前提。」など、部大会はどのような形でやってもいいから、開催はするという意見にまとまりました。それに伴って、部則の第2章の8条の(D)「・・・の成果を上げることを目的として原則として部大会、研修会を・・・」

第3章の第14条第1項「部大会は部長の・・・・・・親睦を目的として原則として、年1回開催・・・」

というようにそれぞれ「原則として」という文言を入れることで意見が一致しました。

次に、「各クラブにおいて東日本区信条、及び唱和の意義を検証する」という議題については「ワイズに所属している人には通用するだろう。」「各クラブの自由な選択でよい。」など意見が出されました。

今回、懸案になっていた部大会をやめてしまうかどうかについて、協議した結果、「原則として開催している」という結論になったことはワイズに属するメンバーは会員同士の触れ合い、親睦を大切にしていることの結果だと思うことのできた第1回評議会でした。

今後の予定

宮地輝子

8月1日(土) ブリテン発行(1面須田)

7月例会報告: 小林勉

8月1日(金) ~3日(日) 於: 熊本

アジア太平洋地域大会

8月9日(土) 18:00~於: 所沢センター

クラブ例会 卓話: 太田聡総主事

準備係: 上山・宮地

8月15日(金) 前期区費納期

8月31日(日) 前期部費納期

9月1日(月) ブリテン発行(1面宮地)

8月例会報告: 岡部

9月13日(土) 14:00~於: 所沢センター

クラブ例会 講演: 八重樫綾子さん

「ハンセン病」地域の方に呼びかける

準備係: 上山・大澤

ご案内

9月13日の例会で、八重樫綾子さんの「ハンセン病」についての講演がありますが、おりしも、ハンセン病についてのギャラリー展がありますので、ご案内します。

ギャラリー展

「戦後80年-戦争とハンセン病」

会期: 2025年7月19日(土)

~8月31日(日)

会場: 国立ハンセン病資料館 1F ギャラリー

戦争とハンセン病をめぐる日本の近代史をたどると、戦争がハンセン病患者の隔離を強化し、戦争が隔離下の被害をより深刻にしたことがわかります。戦争をめぐる記憶に触れ、それを継承することによって、人権が尊重され、病と障害がいを理由とした差別が繰り返されない社会の実現を願って企画したので、是非ご覧ください。

(国立ハンセン病資料館)

7月例会

所沢クラブ	9名
メネット	1名
コメット	1名
合計	11名

煎茶 100g 1,000円

粉茶 200g 1,000円

埼玉 YMCA を支える狭山茶をご利用ください